

令和3年4月1日に男女共同参画推進室は、ダイバーシティ推進室となり、新体制のもと再スタートをしました。さらに5月には、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）宣言も制定され、今までの取り組みに加えて、新たな取り組みを始めています。

室長のご挨拶

坂下 玲子（副学長・看護学部教授）



現在、世界中の多くの組織がダイバーシティ&インクルージョンを将来戦略の中核に据え、その実現を目指しているのは、単にそれが人道的であるだけでなく、それが組織を成長させ持続させる鍵だからです。多様性は、これまでになかった新たな視点とアイデアをもたらします。予期せぬ環境の変化に対応し未来を築くため多様性が必要です。しかし、多様性はともすると摩擦や軋轢を生みがちです。ひとりも取り残されず、みんながその力を発揮できるためにはインクルージョンという考え方の元に支援環境の整備が必要です。そのようなひとりひとりが尊重され、成長していける環境は、学生も教職員も多くの人を惹きつけ素敵な人材も集うことでしょう。

日本の女性は「昇進を望まない」と言われます。望まないのではなく、望める環境にないのだと思います。家事、育児、介護・・・まだまだ多くの家庭の仕事を女性が担っています。それらは大切なことですが、時間と労力を要するので、女性は、時には無意識のうちに、社会でがんばる意欲をくじかれています。性別だけではなく、国籍、宗教、障がいなど背景の相違にかかわらず、ひとりひとりが豊かなキャリアを追求できるキャンパスになればと願います。

副室長のご挨拶

乾 美紀（学長特別補佐・環境人間学部教授）



ダイバーシティ&インクルージョン宣言を機に、学生の皆さんがインクルーシブマインドを身につけるキャンパスづくりを進めていきたいと思っています。一人一人が別人であることは当たり前ですから、異なる背景を持つ人と自然に協働する、必要な時に手を差し伸べることができるという姿勢こそ、今後社会で求められる力だと感じています。

ダイバーシティ推進室では、今後、教職員と学生が協働して、インクルーシブマインドの育成につながる取り組みを行っていきます。性別を意識することなくキャリア形成を進める、見えない違いについてカミングアウトをしなくても恐れず学生生活を送れるキャンパスを理想とし、学生の皆さんと共に多様性についての対話を重ねていきたいと思っています。

兵庫県立大学 D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）宣言

兵庫県立大学は、海と山が織りなす多彩な地域性を背景に、異なる分野を持つ大学が統合して設立された総合大学です。これまで、本学の創基 100 周年ビジョンである「社会から信頼され評価される、世界水準の大学を目指す」ため、国内外から多様な学生や教職員が集い、グローバルに活躍できる人材の育成に努めてきました。

そしてさらなる飛躍のために、2012 年より進めてきた「男女共同参画」の取り組みを、それぞれが有する多様性や価値観を尊重する「ダイバーシティ」と、全ての構成員を取り残さず包括するという「インクルージョン」の考えに基づき発展させます。よって、兵庫県立大学は、性別、障がい、国籍、宗教、文化、性的少数者であることなどにかかわらず、ひとりひとりの教職員、学生が持つ能力を最大限に活かし、共創できる環境をつくることを目指し、ここに全学を挙げてダイバーシティとインクルージョンの推進を宣言します。

ダイバーシティ&インクルージョン推進基本方針

1. 兵庫県立大学は、学生・教職員が持つ多様な背景を認識し、相互理解を促進するとともに、地域社会とも連携しながら、たとえ少数者であっても、誰もが取り残されることがなく尊重されるキャンパスを構築することに努めます。（意識啓発）
2. 兵庫県立大学は、インクルーシブマインドを持つ次世代の人材を育成するため、「学生ファースト」を主眼とする教職員と学生とのネットワークを形成し、ダイバーシティに関する意識改革やキャリア形成につながるサポートを実施します。（人材育成）
3. 兵庫県立大学は、支援を必要とする研究者のキャリア開発やキャリアアップに貢献し、背景を問わず誰もがスキルを向上し研究業績を社会還元できる環境を整備し、研究者と組織が力を最大限に発揮しながら発展する大学づくりを目指します。（研究支援）
4. 兵庫県立大学は、ライフイベントにかかわらず誰もが安心して働くことができる体制を整備し、豊かに生きることが仕事のうえにもプラスになる労働環境を整えます。さらに、仕事（ワーク）と生活（ライフ）を充実させることで生まれるシナジー（相乗）効果を向上させることに努めます。（ワークライフ・シナジー）

令和3年5月10日

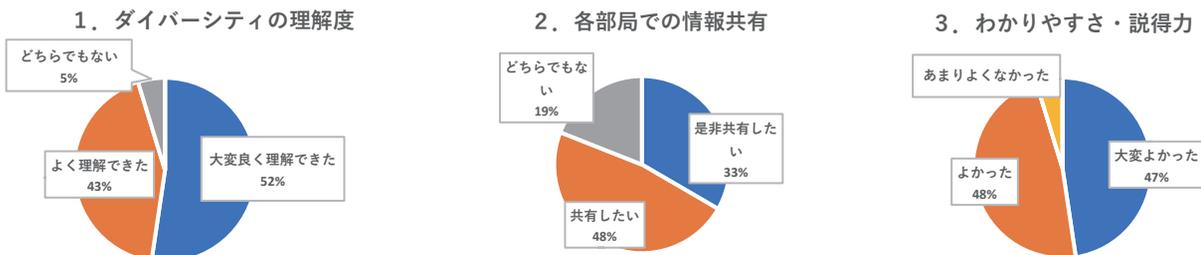
本部の取組

幹部教職員研修

実施日：令和3年7月29日（水）13：50～14：50
 場所：本部大会議室
 参加者：29名（幹部教職員）

5月に本学のD&I宣言が公布されたことを受け、幹部教職員を対象に、京都産業大学ダイバーシティ推進室長の伊藤公雄氏を講師に迎え、「大学におけるダイバーシティ推進」というテーマで研修会を実施しました。坂下室長の挨拶の後、ダイバーシティ推進と経済の関連、ダイバーシティ推進の職場におけるメリットなどについて、多数のデータを用いて講演していただきました。参加された幹部教職員の方々は、熱心に聞かれていました。

【アンケート結果】



- ・日本の高度成長期の世界におけるダイバーシティの推進状況をもう少し詳しく知りたい。中国、イスラム諸国のダイバーシティと経済状況について詳しく知りたい。（教員）
- ・ダイバーシティの推進と経済の発展性の関連性があることを理解した。本研修からダイバーシティの推進が学術や経済の仕組みからも必要となってきた時代であることを理解した。（教員）
- ・ジェンダー平等等の潮流について歴史的、世界的な動きから教えていただき、データを含め大変参考になった。男性学の視点からの意識改革の意見も新鮮だった。（職員）
- ・ダイバーシティを推進することが大学にとってなぜ重要なのかを理解していない職員は多いと思います。今回のような形で分かりやすく導入していただける研修がよいのではないかと思います。（職員）

令和3年度 兵庫県立大学幹部教職員研修

ダイバーシティの視点から大学の未来を考える

講師 伊藤 公雄氏
（京都産業大学ダイバーシティ推進室長、現代社会学部教授）

日程 令和3年7月28日（水）13：50～14：50

会場 本部大会議室（中会議室にも同時配信）

配信方法 オンライン配信

主催 兵庫県立大学ダイバーシティ推進室
 お問い合わせ：ダイバーシティ推進室（55部、長崎）
 Tel:078732-4822 E-mail:women@ofc.u-hyogo.ac.jp



（実施会場の様子）

科研費獲得講座

7月7日（水）～10月31日（月）の期間、ロバストジャパン（株）の中安豪氏（代表取締役、理学博士）による科研費獲得講座をオンデマンド配信しています。昨年度に引き続き、科研費申請書レビューと並行して、2パターンのサポートを実施しています。

講座内容は、「2021年度科研費の最新動向」「科学技術政策の科研費への影響」「科研費制度の要求事項」「理想的な研究計画調書に向けて」の4項目と昨年度までの本学の特徴を加味したものとなっています。令和2年度の本学の新規科研費採択率は、25.5%です。（全国の申請者における採択率は、20～30%です。）

採択に向けて

科研費獲得講座

動画配信期間
 2021年7月7日（水）～10月31日（月）

内容

- 2021年度科研費の最新動向
 科研費応募する上で必要な最新情報を提供。
- 科学技術政策の科研費への影響
 科学技術基本法の大幅改正や近年の科研費改革の動向も踏まえ、科研費申請のアップデートを解説。
- 科研費制度の要求事項
 科研費審査制度が維持している研究計画の姿を再確認。
- 理想的な研究計画調書に向けて
 読み手（審査委員）にとっての分かりやすさとは何か。審査委員の視点から調書のポイントを確認し、研究計画調書を理想に近づける方法を提案。

科研費申請のサポート講座も実施中（～9月4日）

お問い合わせ：各キャンパスの研修係

主催・共催：産学連携・研究支援課、ダイバーシティ推進室

ダイバーシティ推進室のロゴデザイン&キャッチフレーズ募集

兵庫県立大学は、2021年5月にD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）宣言を公布し、ダイバーシティ推進室が新たな歩みを進めています。そこで、この新たな歩みを象徴するロゴデザインとキャッチフレーズを7月29日（木）～9月30日（木）の期間、本学学生・教職員及び附属中学・高等学校の生徒、教職員を対象に募集しました。今後、学長及びダイバーシティ推進室関連の方々によって、厳正なる選考を行います。多くの人々の印象に残るようなロゴデザインとキャッチフレーズにより、本学のダイバーシティ&インクルージョンが推進されるように願いをこめています。

兵庫県立大学
 ダイバーシティ推進室

ロゴデザイン
 キャッチフレーズ
 大募集

兵庫県立大学の推進する
 ダイバーシティ&インクルージョンを
 みんなで考えよう！

応募受付/2021年7月29日（木）～9月30日（木）

応募資格/兵庫県立大学の学生・教職員
 附属中学・高等学校の生徒・教職員

問い合わせ/ダイバーシティ推進室
 TEL:078732-4822
 Email:women@ofc.u-hyogo.ac.jp

ひとことメモ1

- ・ダイバーシティとは・・・年齢、性別、民族、宗教、疾病、性自認、性的指向、教育、国籍等の違いを尊重すること
- ・インクルージョンとは・・・
- ・D&Iとは・・・

どのような個人や集団であっても、歓迎され、尊重され、支援され、評価され、参加できるような環境を作ること

組織の中でダイバーシティ（Diversity）によって多様性を高めるだけでなく、そこに属する人が個人として尊重されながら、構成員の一人としてその違いを活かし、力が発揮できるように積極的に環境整備や働きかけを行っていきこうという考え方

分室の取組

神戸商科キャンパス

キャリアデザインの授業の1回目をダイバーシティ推進室分室の共催の公開授業とし、学生に加えて教職員を対象とするワークライフバランスとキャリアに関する取組を行いました。ゲストスピーカーとして、えるぼし認定やくるみん認定を取得し、女性活躍推進や子育てサポートに力を注いでいる企業であるモロゾフ株式会社商品企画部 橋本氏（入社17年目）と生活協同組合コープこうべ人事部 中田氏（入社3年目）を迎え、それぞれの立場から仕事への取組み方、モチベーショングラフを用いての自己分析の解説、育児との両立についてのお話をうかがいました。その中では、悩みながらも周りに支えられながら仕事を続けてこられた中でのエピソードなどのリアルな状況を聞くことができました。質疑応答では、就活における疑問や、就職後のキャリア、さらには企業と社会の関係など幅広い質問があり、大変活発な取組となりました。



姫路工学キャンパス

2021年度8月10日（火）～3月31日（木）の間、Webオープンキャンパスが開催されており、その中でダイバーシティ推進室分室企画の「工学ガールのためのサマーカフェ」が実施されています。

今年度は、理系進学を目指す女子中高生を対象に、以下の動画を配信しています。

(<https://www.eng.u-hyogo.ac.jp/outline/oc/contents/summercafe/>)

- ・「社会人になって振り返る工学部の魅力」株式会社ニチリン藤川麻美さん（化学工学専攻・2018年卒）
 - ・「工学女子の生活」機械・材料工学科 材料コース 4回生 山内里穂さん
 - ・「私のキャンパスライフ」機械工学専攻 博士前期課程2年 高橋朋花さん
- さらに、工学研究科の女性研究者たちの紹介もあります。（4名）



（藤川麻美さん）



（山内里穂さん）



（高橋朋花さん）

神戸防災キャンパス

8月1日（日）に神戸防災キャンパスにおいて、個別相談会を実施しました。相談員として女性教員2名、男性教員9名、女性職員2名、男性職員1名、女子大学院生4名、男子大学院生2名を配置し、受験希望者15名（女性6名、男性9名）の相談に応じました。具体的な研究や学生生活を描くための相談の機会を提供するだけでなく、増加傾向にある女子や外国人の受験希望者が、直接研究者・大学院生等と話すことで、不安の解消につながりました。また、昨年度、男女共同参画推進室事業で作成した冊子「災害時の子育て」の配布とパネル展示により、ジェンダー視点に基づく防災の啓蒙活動を行いました。



（参加者の様子）

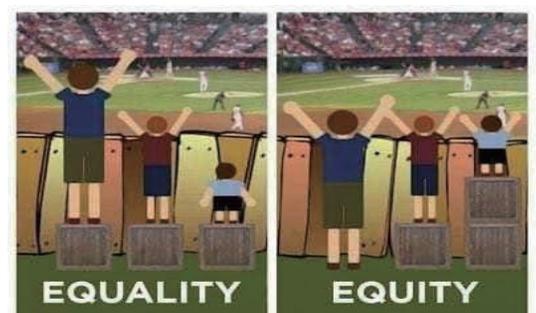


（パネル展示）

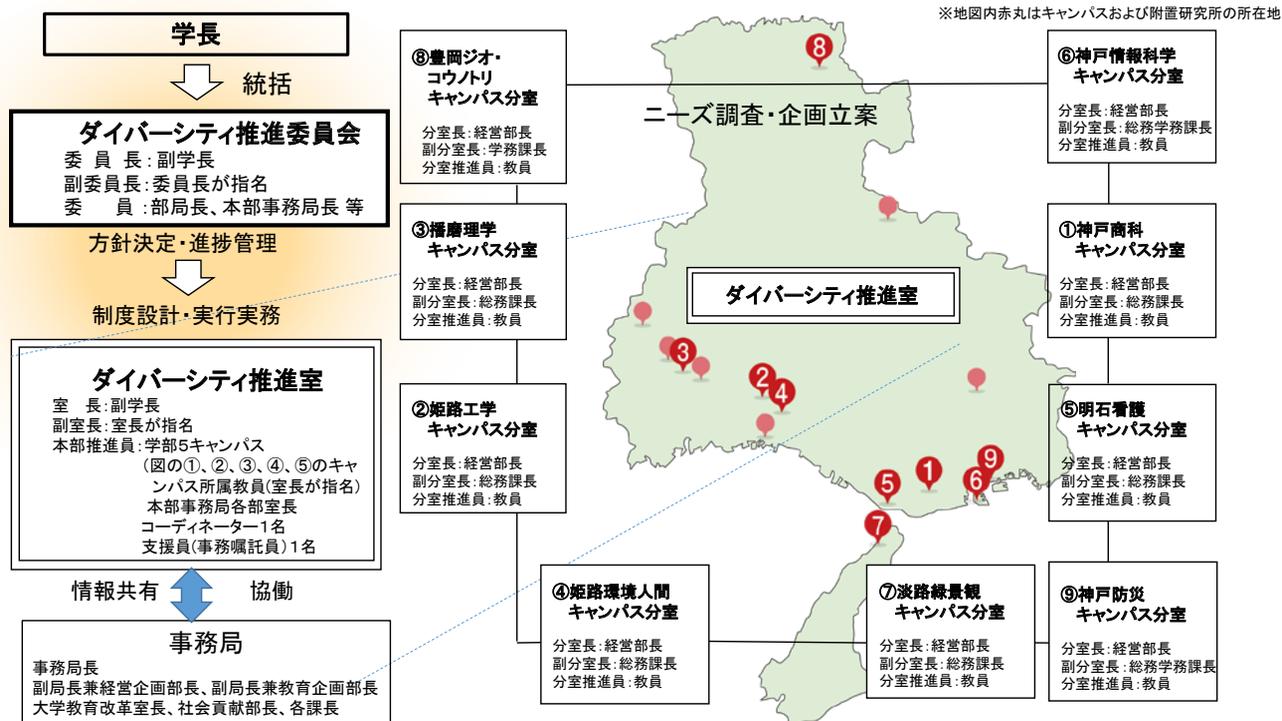
ひとつことメモ2

- ・DEIとは、D&I+Equity
- ・エクイティ (Equity) とは・・・

「公正」を指す言葉。よく似た言葉に Equality (= 平等) があり、両者は似ているが、意味しているところが違う。公平性は、利点と障壁が存在し、その結果、すべての人が同じ場所からスタートするわけではないことを認識しています。公平性とは、その不平等なスタート地点を認識し、不均衡を是正し、対処することを約束することから始まる一連のプロセスです。



体制図



ひらめき☆ときめきサイエンスとは？

大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、小学5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです



(震動台実験の体験)



(耐力壁の手計算の様子)

ダイバーシティ推進室では、毎年、ひらめき☆ときめきサイエンスに採択されたプログラムに対して、次世代育成の一環で協力をしています。今年度は、情報科学研究科の永野教授が採択されました。今回は、参加者の半数が女子だったこともあり、女子中高生の理系進路選択支援にもなりました。

テーマ：「地震に強い建物を模型とシミュレーションで体験しよう！」

日時：令和3年8月3日(火)

参加者：14名(中学生8名、高校生6名)

場所：情報科学研究科(神戸情報科学キャンパス)

内容：

午前の部は、「地震に耐える建築」として地震力を受けたときの力の流れや耐え方を学習し、力の流れを建築模型から学習しました。午後からの実習では、受講生自身が模型を作成し、その耐力実験を実施しました。また、木造住宅を対象とした「壁量計算」では、手計算により必要壁量について学びました。さらに、コンピュータを使って、いくつかのシミュレーションを実施しました。

最後に修了式を行い、永野教授から受講生一人一人に修了証書を手渡しました。

アンケート：

- ・今回のはいままで参加したものの中でも、とっても楽しかったです。実験と講義のバランスが良かったです。子供だからと言って、あまいに簡単な理論だけではなく、くわしく話してくれておもしろかったです。私が理解しやすいように、おもしろいように色々ふうされていて良かったです。
- ・ですが、少しテンポが早い所があったので、もう少し、ゆっくり進めてほしかったです。お弁当、とてもおいしかったです。おかしも多くて嬉しかったです！(参加者・一部改変)
- ・休憩時間に中高生の子たちと沢山話が出来、楽しい雰囲気づくりが出来ました！！私も中高生の間にこういったイベントに参加しておけばよかったなと思いました！！(学生スタッフ)

中高生が
がんばった！



(修了証書授与)

兵庫県立大学 ダイバーシティ推進室
〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1 神戸商科キャンパス 本部棟1階
TEL：(078)792-4822 / Email：diversity@ofc.u-hyogo.ac.jp
URL：https://www.u-hyogo.ac.jp/danjo/

ダイバーシティ推進室へのご意見・ご要望等をお聞かせください。